



2019年3月20日
東日本旅客鉄道株式会社

MaaS 事業推進のための専門組織の設置について

JR 東日本ではグループ経営ビジョン「変革 2027」の実現に向け、お客さまが移動のための情報・購入・決済をオールインワンで行うことができる「モビリティ・リンケージ・プラットフォーム」を構築することにより、「シームレスな移動の実現 (=MaaS: Mobility as a Service)」を目指しています。

このたび、MaaS 事業戦略を一元的に企画・立案し、強力かつスピーディに推進する新たな組織として、技術イノベーション推進本部内に、「MaaS 事業推進部門」を設置することといたしました。

1. MaaS 事業をとりまく現状

MaaS については、交通機関等の検索・予約・決済を統合したサービスとして海外で実用化されており、日本でも実用化に向けた動きが活発になっています。

当社も、様々な企業や自治体と連携して MaaS に関する実証実験を始めており、今後さらに拡大させていく計画です。

2. MaaS 事業推進部門の設置

MaaS 事業をとりまく現状を踏まえて、技術イノベーション推進本部内に、「MaaS 事業推進部門」を設置することといたしました。今後は本組織を中心に、オープンイノベーションで、MaaS 事業を強力かつスピーディに推進していきます。

3. 設置時期：2019年4月1日(月)

